

先進事例 紹介

消防士への憧れプロジェクト

～ 10年先の将来を見据え、憧れという目に見えないものを形として表現した採用広報強化事業 ～

豊橋市消防本部 総務課 人事教養担当

はじめに

近年、当市における消防職員採用候補者試験の受験者数は、ゆるやかではありますが下降線をたどっており、今後の採用においては、少子化や民間企業のお金と時間を投資した積極的な採用広報活動などの影響により、より厳しい状況となることが予想されます。

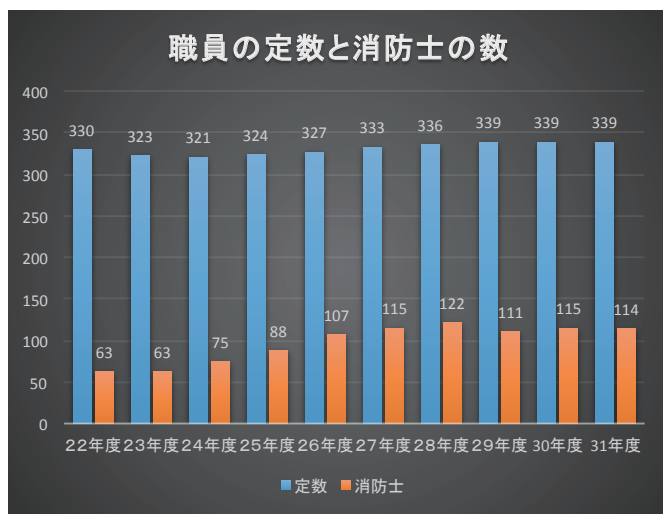
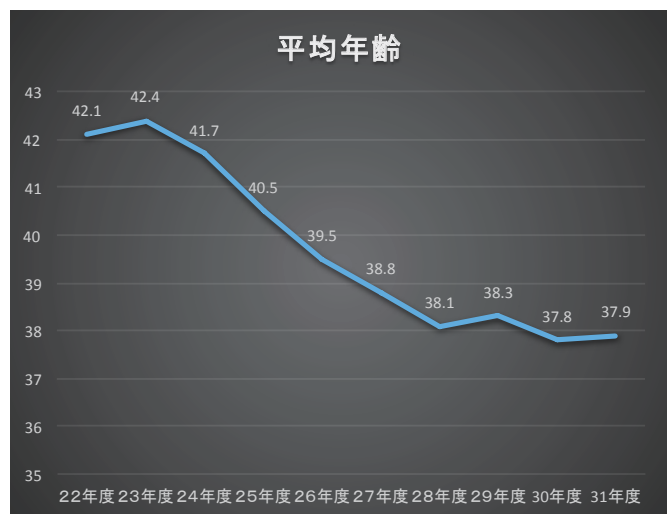
組織においては若年化が進行し、組織力の低下も懸念されています。経験豊富、蓄積された技術をもった団塊世代に定年退職が訪れ、職員の平均年齢は現在37.9歳となり、10年前と比較して約4歳下がりました。また、階級でいう消防士の全職員に対する割合は19%から34%にまで上昇しています。その中、社会情勢や環境の変化により災害は多様化、大規模化し、それらの新たな時代に立ち向かうため、当本部では若手職員の人材育成強化を図っていますが、採用の段階からより優秀な人材を求める必要性を強く感じるようになりました。

そこで平成27年度より「消防士への憧れプロジェクト」と題して採用広報強化事業を手探りで開始しました。女性活躍推進事業と連携し、女性消防士確保という課題も意識しながら取組みを実施しています。

消防士への憧れプロジェクトの紹介

10年先の将来を見据え、憧れという目に見えないものを形として表現することで、幼少期から青年期まで一元的に消防士のPRを行い、消防士の担い手の確保、優秀な人材を確保することを目的に、プロジェクトを第1弾から第3弾に分けて展開中です。

- 第1弾 子供に対して憧れを抱かせる啓発品の開発
- 第2弾 女子大生が学生の目線から消防士のイメージを調査分析し、PRツールを作成
- 第3弾 高校生に対して消防士の魅力を伝える授業の開始（FFC:Fire Fighter Class）



組織の若年化（参考）豊橋市消防本部過去10年職員調べ

プロジェクト第1弾 企業とコラボ

- テーマ ・ 幼少期の子供が憧れを抱く啓発品を予算をかけずに開発したい。
- 背景 ・ 従来の啓発品は予算の関係上既製品のポケットティッシュや文具具等から選ぶしかいないため、現代の子供にとって消防士に憧れを抱く啓発品ではなかった。
- 取組 ・ 地元の企業と協定書を締結し、地域貢献として開発費を企業の持ち出しで消防本部オリジナルPRグッズを共同開発。
- 効果 ・ 常時店頭で販売しているため常にPRが可能。市の費用負担がない。
・ 各種消防情報の発信が可能。※以下◎部分



ファイアーバウム
協定：(株)アトムベーカー

◎PR動画のQRコード付き菓子箱により採用情報の発信強化を図ります。



水ピタ防水シート
協定：(株)くればあ

◎商店街のシャッターや地下街等でのゲリラ豪雨時に避難啓発を行います。



ファイアーアンブレラ
協定：スズキ産業(株)

◎男性や男児も気軽に日傘を手にとってもらいます。日傘男子の定着を図ります。



おいしい防災おこし
協定：(有)若松園

◎アレルゲンフリーで水を加えれば離乳食にもなります。ローリングストック法を推奨します。

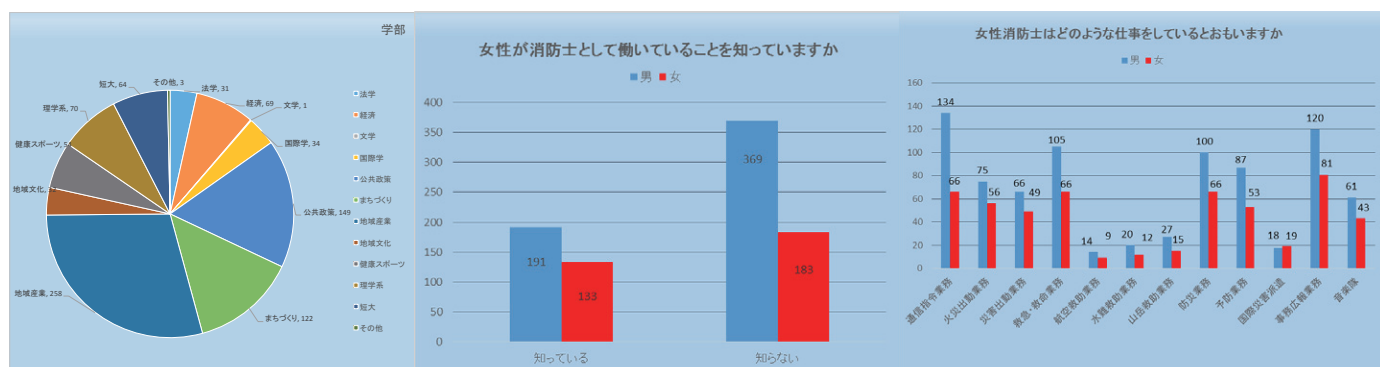


ファイアーヒーローズクッキー
協定：斎藤製菓(株)

◎「みんなのヒーロー消防士」「地域のヒーロー消防団」として消防団員の加入促進もかねています。

プロジェクト第2弾 女子大生とコラボ

- テーマ
 - ・学生の目線から消防士のPRを研究。PRツールを作成し採用ガイダンスに活用したい。
 - ・女性消防士を憧れの職業にしたい。
- 背景
 - ・学生目線のPRツールを持っていない。
 - ・女性消防士の認知度が低い。
- 取組
 - ・官学連携事業で女子大生による消防士のイメージアンケートの実施及び分析。
 - ・分析結果を反映させたPR動画の作成、女性消防士PRポスター作成。
- 効果
 - ・学生目線の採用広報が可能。
 - ・消防、学生相互の活性化が図れる。



学生約900人を対象にアンケート調査



女性消防士PRポスター

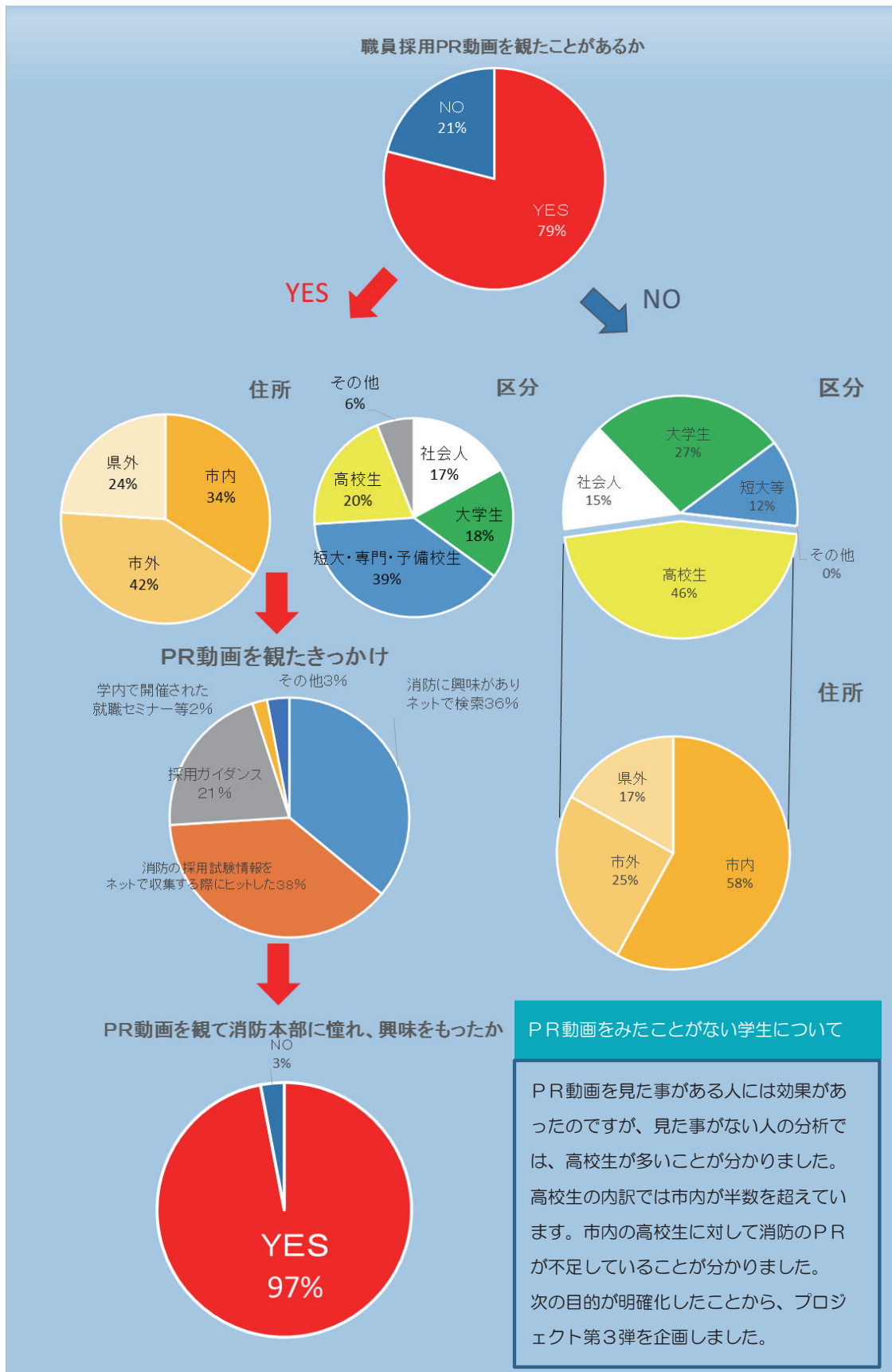


活動の様子



PR動画

■第2弾PRツール作成後に採用ガイダンス等でのアンケート調査（一部抜粋）



先進事例 紹介

プロジェクト第3弾 高校生とコラボ

- テーマ ・ 青年期に対する人材確保。
・ 地元の高校生に消防士をPR。
- 背景 ・ 大学生には就職ガイダンスを実施しているが、高校生には消防士の魅力を伝える機会がなかった。
- 取組 ・ 地域連携として申込みのあった高校へ赴いて授業を行う。
・ 現役消防士による経験談から「仕事のやりがい」「命の大切さ」を伝える。
- 効果 ・ ガイダンス会場の確保、宣伝を行わなくても男子、女子高校生にPRが可能。



人のためになる 仕事もいいね

豊橋南高で 魅力を伝え、採用強化
市消防本部

消防士の魅力を伝えるべく、豊橋市消防本部は今年度から、高校へ出向き授業を行っている。この日は、県立豊橋南高校で1年生約100人対象のやりがいなどを説明した。
(飯塚寛)

市消防本部が行う「防士」プロシエクトの一環。近年、受験者数の激減が続いており、担い手や優秀な人材の確保を目的に「ファイアーファイタークラス(FFC)」というシミュレーションを実施している。

この日は、総務課人事課担当の小山知也さんと消防士1白や待機などを説明したほか、消防士体験のレクリエーションも行った。

消防士も豊橋市の職

FFC実施後の学内アンケート抜粋

感想など

今日の話をきくまで消防士にたいしてあまり興味がありませんでした。
しかし、今日すごく興味も抱くようになりました。
正直、夢は見つからずとも、今日すごくいいです。
高卒でなるのは必ずしもいいわけじゃないけど、人々のために働きたいと前々から思っていたので少しその調べを研究したいです。
今、自分の夢は消防士になりました。目標に向かって頑張ります。ありがとうございます。

感想など

自分の友達のお父さんが消防士で、ボランティアで陸上も教えてくれているのですが、こんなにリアルに仕事を聞くと、生命に関わることで大切な仕事場なんだとあらためて思いました。
女性のための設備もあっていて、充実していると思いました。
人が生きていない状態や、正常の体ではない状態を見るのが、少しショックで心配ですが、消防も進路で考えてみようと思いました。ありがとうございます。

おわりに

採用というものをベクトルに置き換えて考えています。ベクトルは「向きと大きさ」を持っています。向きは憧れであり、大きさは努力です。向きは採用する側が提供し、採用される側の受験生は、向きに合わせた大きさを、合格ラインまで伸ばす努力をします。消防士へベクトルを向けてもらうためには、消防だけの目線ではなく、多角的な視野を持って、他の分野と積極的に連携することが大切だと考えています。憧れの効果を数値化することはなかなか難しいのですが、事業を推進する課程ではEBPM（エビテンスに基づく政策立案）を意識し、政策目的を明確化したうえで合理的根拠に基づきこのプロジェクトを第3弾まで発展させてきました。

採用担当である以上、採用に繋がる人材の確保という目の前の目標はあるのですが、このプロジェクトにはその背景にある大きな効果を期待しています。「消防士ってカッコいいな」そんな感覚を、幼少期から青年期までの将来を担う若者に抱いてもらうことが、その後の消防行政全体の理解や発展を生むきっかけとなるはずです。

果実は種を蒔かなければ実りません。人口減少時代に直面し、何事においても効率化が重視され、AIの導入や機械化が加速する現代だからこそ、人の憧れという感情に働きかける必要性があります。10年後の将来を見据え、地道に消防士への憧れという種を蒔く作業も我々の使命ではないでしょうか。